

「奥沢水源地 保存・活用基本構想(素案)」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| 1 意見等の提出者数           | 5人  |
| 2 意見等の件数             | 16件 |
| 3 上記2のうち計画等の案を修正した件数 | 0件  |
| 4 意見等の概要及び市の考え方      |     |

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	公園の愛称を市民から公募してはどうでしょうか。	基本構想は、基本テーマや基本方針を定め、将来的な方向性を示しているものであるため、ご意見につきましては、今後、具体的な整備内容や活用方法を検討する際の参考とさせていただきます。
2	土、日などの休日には市民が気軽に行けるように市内各所から1時間に1本程度のバスの運行をお願いします。民間(中央バス)が無理なら市の運営でも結構です。	
3	歴史を学べるという点はとても良いと思いますが、整備のみではなく、学生などの若手の人材を参加させたり、参加できるイベントなどを打てるような環境づくりを盛り込んでみてはいかがでしょうか。市民の方が楽しみ憩い、そしてアピールしたくなる環境になれば、そこから発信もしていくことが可能ではないでしょうか。	
4	小樽市内にある公園を見て常に考えることがあります。①当初計画に基づき素晴らしい施設が出来ても、経年劣化に伴い保守整備がなされていない印象を受ける。②老朽化するため利用率が低下しているように思われる。③毎年同じ設備やサービスでマンネリ化する。以上3点を考慮して将来に渡り市民のための有効な施設になるよう是非次の検討に盛り込んでいただきたい。	
5	奥沢水源地を核とした他の施設(博物館、図書館、自然の村など)とコラボレートしながら相互の強み弱みを生かし、永続的に利用できる高付加価値な施設になるよう検討していただきたい。	
6	歴史的価値も高い水源地、緑豊かな水源地を観光資源に活かせるように検討していただきたい。	
7	小樽市は、人口が減少し続けるとともに財源も年々少なくなることから、奥沢水源地の保存・活用は、将来にわたり維持管理できる身の丈に合ったものであるべきです。小樽市の公園の原単位(m <sup>2</sup> /人)は全国平均を上回っており、十分足りているため、奥沢水源地はその目的を「保存」のみに絞り込むべきではないでしょうか。	「市民」が憩える場所としての活用を第一に考えていますが、ご意見につきましては、今後、具体的な活用方法を検討する際の参考とさせていただきます。
		奥沢水源地は、先人から引き継いできた歴史的な資産であるとともに、周辺の自然景観、環境が昔から市民の皆さんに親しまれてきた場所であるため、素案のとおり、創設水道施設の「保存」と市民の憩い場としての「活用」を目指します。

No.	意見等の概要	市の考え方等
8	<p>勝納川の水は、現在、引入口より放水路、階段式溢流路を通り、下流の勝納川に流れていますが、この経路は人工の水路であって、本来の勝納川ではありません。また、落差工があるため生物の往来もできません。貯水池内に昔の自然の川を復元させるべきではないでしょうか。貯水池内に川が無くては水源地の跡地のイメージが湧きません。放水路と川を両立させるべきと考えます。</p>	<p>融雪期や大雨による出水など安全上の観点から、貯水池内に勝納川を復元するのは困難です。なお、二股沢川は、現在も貯水池内を通り既存の勝納川に接続しています。</p>
9	<p>貯水池内は長い期間をかけて植樹や天然更新により自然の生態系を再生し、それを観察し続けることが学習になると思います。自然の遷移が人の一生では見届けることができない雄大な時間を与えてくれる場所となるでしょう。焦らず5～6年様子を見てはいかがでしょうか。</p>	<p>基本構想は、基本テーマや基本方針を定め、将来的な方向性を示しているものであるため、ご意見につきましては、今後、具体的な整備内容や活用方法を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>パブリックコメントのみで完了ではなく、今後もいろいろな機会を設け、多くの市民や自然環境保全活動をしている専門の方の意見も参考にしてください。</p>	
11	<p>近代化遺産であることを考慮し、西洋式の建築作工物と水空間、森林空間が醸し出す風格あるランドスケープを作っていただきたいと思います。建築物や作工物は、現状の土木遺産の歴史と風格に十分な敬意を払い、それなりの材料と意匠をお願いします。</p>	
12	<p>湿性植物の配植や水鳥の誘引、生物農薬の使用についてなど、検討すべき項目は多いと思いますが、ほとんど記述がありません。</p>	
13	<p>小樽市民による植樹サークルなども多数ありますが、植樹の記述はあるものの、どのように参加していただくのでしょうか。</p>	
14	<p>景観とは、そこを訪れる個々の人々が感覚する全ての範囲であり、ゾーニングによる機能別のゾーン分担をはるかに超えて広がっています。ゾーン毎の違いが際立ち、全体の景観がちぐはぐな物になる可能性があるため、景観とゾーニングの整合性を考慮すべきです。</p>	
15	<p>堤体上部は特徴的な地形であり、来訪者がぜひ行ってみたいと考えるはずですが、これらへのアクセスがありません。</p>	<p>堤体上部は「交流・学習ゾーン」と「散策ゾーン」に位置づけておりますので、アクセスが可能です。</p>
16	<p>小樽市役所の作るものは、他市町村のものに比べ非常にセンスが劣っています。市職員は近代化遺産を見学すべきです。</p>	<p>基本構想の内容に対するご意見ではないため、参考意見とさせていただきます。</p>